

記者発表（発表・資料配付）				
月／日 (曜日)	事務所等名	電話	発表者(担当者)	配布先
5/31 (金)	兵庫県立農林水産技術総合センター 水産技術センター	078- 941-8602	所長 平石 靖人 (専門技術員 中桐 栄)	

水産技術センター生物実験棟に「閉鎖循環飼育システム」を整備

水産技術センター生物実験棟に閉鎖循環方式の魚類、藻類、二枚貝類の飼育実験システムが整備されました。今後兵庫県でも養殖が拡大しつつある「ローカルサーモン養殖」やワカメ養殖などの効率化を目指した養殖技術開発を行います。

記

1 システム整備の背景と課題・目的

現在、生食用の国産養殖サーモンの需要が増加しており、兵庫県内でも海面養殖業者が県産サーモンの開発に取り組み始めています。本県瀬戸内海側においては、新たな種類の二枚貝類の養殖に着手する漁業者も増加しており、高品質なアサリ等の生産が可能となってきましたが、いずれも効率的な養殖技術の確立には至っていません。

このため、閉鎖循環式飼育システムを整備し、サケ科魚類養殖の淡水・海水飼育の技術開発に加え、二枚貝類や藻類を対象とした養殖技術開発を行い、県内における新たな養殖生産体制の構築を図ろうとするものです。

従来の掛け流し式の飼育施設では、施設の老朽化ともあいまって水温を変えた飼育実験を行うことが困難な状況が続いていました。

今回新たに整備したのは、飼育排水を回収、ろ過、殺菌して再利用する飼育システムで、疾病対策上も優れ、水温、光周期、塩分濃度を変えた実験が可能です。

今後は、サケ科魚類の効率的な海水馴致技術や、ワカメの品種改良を目指した種苗生産試験、二枚貝類の養殖技術開発に加え、システムの改良や低コスト化など、システムの普及を見据えた研究にも取り組む予定です。

2 システム概要

幼魚飼育用 1 トン水槽 5 面、ふ化仔魚飼育用 0.3 トン水槽 3 面、成魚飼育用 5 トン水槽 2 面、藻類、二枚貝類実験用 0.6 トン・0.2 トン水槽各 5 面

3 その他

取材を希望される方は、事前に下記の担当までご連絡下さい。

〔問い合わせ先〕 兵庫県立農林水産技術総合センター

水産技術センター 水産環境部 (中桐)、水産増殖部 (五利江)

住所：〒674-0093 明石市二見町南二見 22-2

電話：(078)941-8602 FAX：(078)941-8604